



本村幼稚園 12月の園だより

令和2年 11月 30日 港区立本村幼稚園長 山村 登洋

1年の締めくくり

園長 山村 登洋



立冬が過ぎ、暦の上では、冬に入りました。

新型コロナウイルスの第3波が懸念されるところです。園としても気を引き締め、感染防止に努めてまいります。

さて、12月の4日（金）、5日（土）には、親子スポーツフェスティバルに続く園行事第二弾の展示会を開催いたします。コロナ禍の中、分散鑑賞、一部作品縮小と例年通りとはいかないところもありますが、中止の代替え行事はありませんので、いつもと変わらない子供たちの日頃の成果を十二分にご覧いただけたらと思っています。



今、子供たちは、その展示会に向けて急ピッチで作品を作り上げている最中です。「先生、この色で塗れば本物みたいに見えるね」「この色とこの色を混ぜたらどんな色になるかな」「この部分を作るには〇〇と〇〇が必要だから、取ってくるね」「ここは、こんなふう曲げて作らないと変だよ」と、子供たちの疑問、質問、そして自分たちの考え、意見が飛び交っています。もちろん、私たちは展示会の作品作りにおける教育的価値を理解して指導していますが、子供たちの創造性も大切にしています。先生に言われたことだけをコツコツやるだけではなく、むしろ今年は、子供たちの発想力、創造性が豊富なので、子供たちの「やってみよう！」「こうしてみたい！」という気持ちを大切にしています。

さあ、この2日間は本村幼稚園が、素敵なステキな子ども美術館に変身します。大勢のご来園をお待ちしています。展示会の詳細は展示会のしおりをご覧ください。



いよいよ令和2年も1ヶ月を残すのみとなり、忙しい年末・年始がやってきます。ぜひ、時間をつくってお子さんと次のことをやってみてはいかがでしょうか。一つ目は「大掃除」です。一緒にやるのもいいですが、特にはと組のお子さんには、簡単な一カ所を任せてみるのがいいですね。狭い場所なら「終わった！」という達成感を味わう事ができるので、「次

も頑張ろう」「まだまだできるよ！」という前向きな言葉も聞こえてきそうですね。二つ目は「日本の伝統的」な遊びを中心に家族で楽しんでみませんか。独楽や坊主めくり、お手玉など小さい子供から大人まで家族みんなで遊べますよ。子供とのコミュニケーションを取っていく上でもこの2つは大切なことだと思います。素敵な年末・年始をお過ごしください。

